

首相の保険証廃止表明

保団連が抗議声明

全国保険医団体連合会（保団連・住江憲男会長）は12日、岸田文雄首相が現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化する「マイナ保険証」への移行を2024年秋に強行すると表明したことに対し抗議する声明を発表しました。

声明は、保団連の「10月以降のマイナ保険証トラブル調査」の一次集計で、資格情報の無効▽名前・住所の間違▽負担割合の超過（そじ）一などとのトラブルがあったこと回答した医療機関が6割で、健康保険証を残すべきという意見が8割

を越えたと指摘。「健保証を存続させる決断」を寄せ長年安定的に運用されてきた健康保険証を廃止强行は言語道断だとして強く抗議しています。

していきます。

声明は、国民が信頼を寄せ長年安定的に運用されてきた健康保険証を存続させる決断をされるとぞが求められてしまうとしています。